TOSHIBA 東芝赤外線リモコンユニット取扱説明書

対象機種	TRS-R1640

このたびは、東芝赤外線リモコンユニットをお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
お求めの東芝赤外線リモコンユニットを正しく使っていただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
なお、お読みになったあとは、必ず保存してください。

目次

工事店様へ 工事が終了しましたら、この説明書は必ずお客様へお渡しください。
お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

<生産完了 2010年03月01日>

安全上のご注意

● ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

● お読みになった後は本機のそばなど、いつも手元に置いてご使用ください。

● この取扱説明書および製品への表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図のなかに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

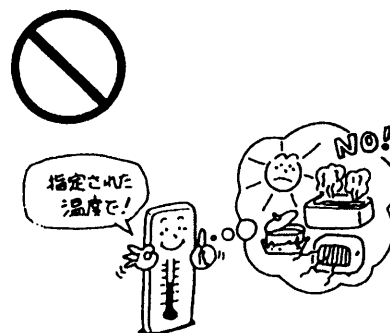
⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

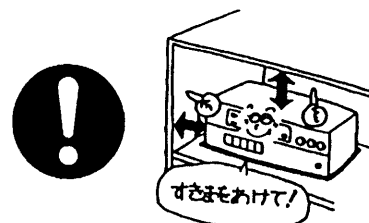
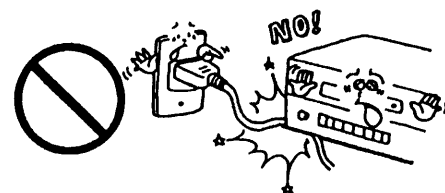
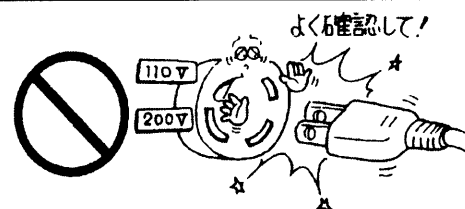
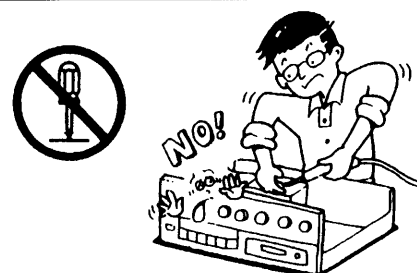
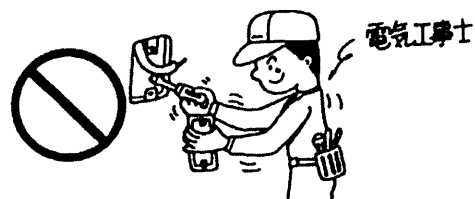
●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠ 警告

〔据付、設置、接続、移動にあたっての注意〕

■ 通風のよい場所に設置してください。高温や湿度、ほこりの多い次のような場所には設置しないでください。火災、感電の原因となります。

- ● サウナや風呂場など
- ● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所
- ● 直射日光のあたる場所
- ● 夏の窓を閉めきった自動車の中
- ● 電気、ガス、石油ストーブなどの暖房器具の真上やその付近
- ● 有害ガスやいろいろなほこりが特に多い所

⚠ 警告

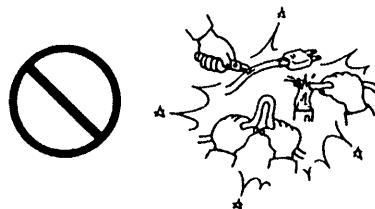
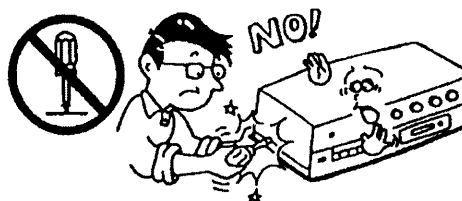
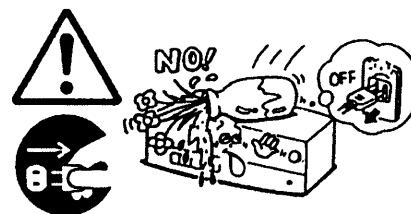
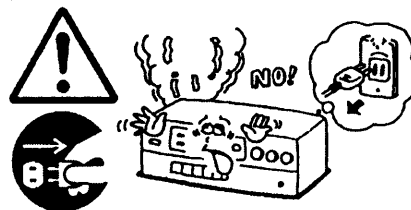
■ この機器を設置する場合、間隔をおいて据えつけてください。
また放熱をよくするために、他の機器との間を少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、すきまをあけてください。
内部に熱がこもり火災の原因となります。

■ 電源コードの上に重いものを乗せたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。
コードに傷がついて、火災、感電の原因となります。

■ 表示された電圧（交流100V）以外の電圧で使用しないでください。火災，感電の原因となります。

■ この機器は改造しないでください。
火災，感電の原因となります。

■ AC100V関係の配線工事は電気工事士にご依頼ください。
一般の人が行うことは法により禁じられています。

■ 必ずアース端子は接地してください。
- 感電事故防止のため、および外来ノイズから機器を守るノイズ吸収素子の働きを活かすために、必ずアース端子を接地してください。
- ガス管にアースすると危険ですから絶対におやめください。
- アースはD種（第3種）接地工事（接地抵抗100Ω以下）とし、専用としてください。

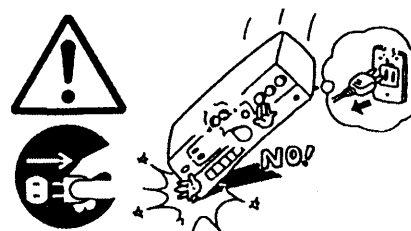
⚠ 警告

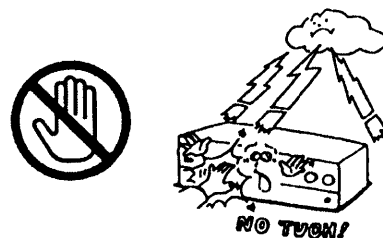
〔使うときの注意〕

■ この機器に水が入ったり、濡らさないようにご注意ください。
火災、感電の原因となります。

■ この機器の上に花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。
こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となります。

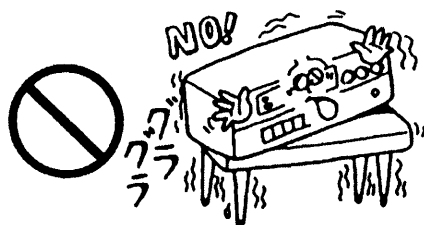
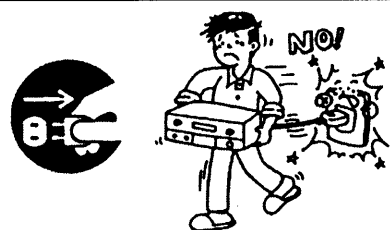
■ 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたりねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。
火災、感電の原因となります。

■ この機器のカバーは絶対に外さないでください。
感電の原因になります。
内部の点検、調整、修理は販売店にご依頼ください。

■ 万一、機器の内部に水や金属物などが入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

■ 万一、煙が出ている、変な臭いがする、異常な音がするなどの異常状態のまま使用すると火災、感電の原因となります。
すぐに、本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて煙が出なくなるのを確認してから、販売店に修理を依頼してください。

■ 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

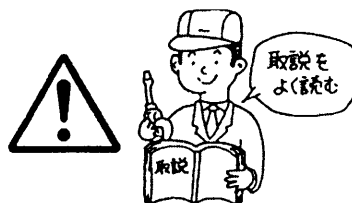
＜生産完了 2010年03月01日＞

⚠ 警告

■ 雷が鳴りだしたら、本体や電源プラグには触れないでください。
感電の原因となります。

■ この機器の通風孔から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。
火災、感電の原因となります。

〔お手入れ、保守、点検にあたっての注意〕
■ 電源コードが痛んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。
そのままで使用すると火災、感電の原因となります。

注意

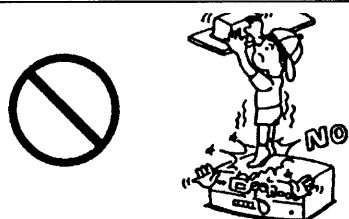
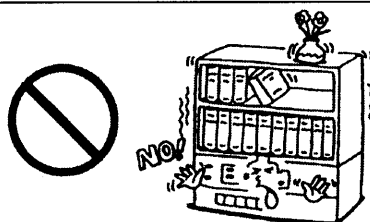
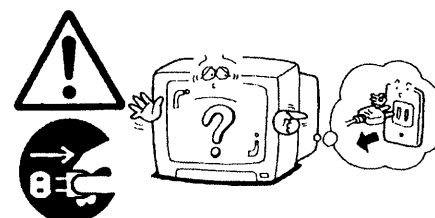
〔据付、設置、接続、移動にあたっての注意〕
■ ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

■ 移動させる場合は電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行ってください。
そのままで移動するとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

■ この機器の上にテレビやオーディオ機器などを載せたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

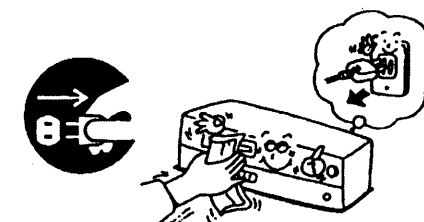
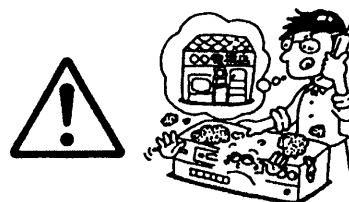
■ 機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。

⚠ 注意

■ 電源コードや接続機器類のコードを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

〔使うときの注意〕

■ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

■ この機器の上に乗ったりしないでください。
特にお子様にはご注意ください。
こわれたりして、けがの原因になることがあります。

■ この機器の上に重いものや、外枠からはみ出るような大きいものを置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり落下してけがの原因となることがあります。

■ 使用中に突然映像が出なくなったなどの異常が生じたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてお近くの販売店にご相談ください。
そのまま放置しておくと、大変危険です。

〔お手入れ、保守、点検にあたっての注意〕

■ お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

■ 1年に一度ぐらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除しないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うとより効果的です。

■ ヒューズを交換するときは必ず指定容量のものをご使用ください。
針金や銅線は使用しないでください。
機器の保護ができず、発熱、火災の原因となります。

注意事項について（必ずお読みください）

データ異常ランプの点灯が多い場合

太陽光やインバータ蛍光灯の近くなど、周囲の状況により受信可能範囲が短くなったり、受信しないことがあります。その場合は受信ユニットの設置場所を変更するか、太陽光を遮るなどの対処をしてください。

電池容量が少なくなった場合も同様のことが発生します。その場合は推奨電池と交換してください。

データ受信ランプが点灯しない場合

リモコン受信機と、リモコンの距離が遠い可能性があります。２m以内でリモコン受光部に向けて操作をしてください。

電池容量が少なくなった場合も同様のことが発生します。その場合は推奨電池と交換してください。

乾電池について

- 付属品の電池は最初の動作確認用のものです。使用期間は保障しておりません。
- アルカリ乾電池の電池持続時間は約１年です。
- 使用環境、操作回数により電池持続時間が短くなる場合もあります。
- 長時間使用しない場合は、電池が液漏れ等する場合がありますので、電池を取り外して保管してください。
- 電池の劣化等がありますので、１年に１度交換することをお勧めします。

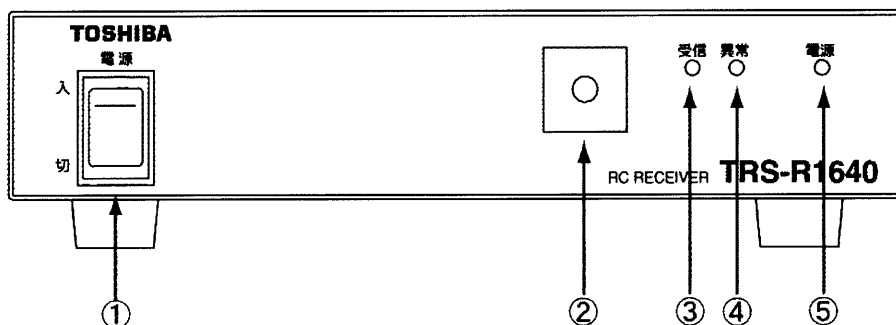
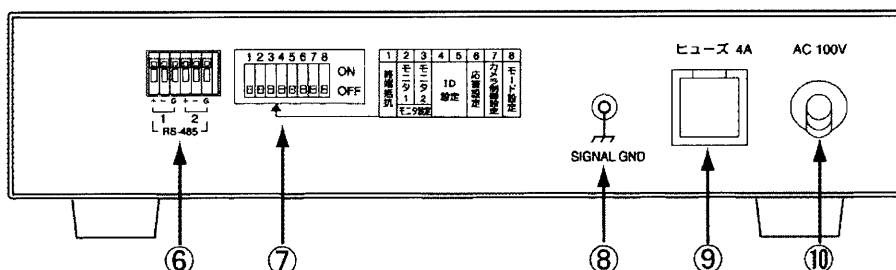
用語の説明

●取扱説明書の中で使われる用語を説明します。

用　語	説　明
単画面表示	カメラ映像をそのまま、モニタに１台分表示します。
分割画面表示	複数のカメラ映像を縮小して、モニタに数台分分割して表示します。
４分割画面表示	カメラ映像を１／４に縮小して、４台分を同時に表示します。 [1 2 / 3 4]
６分割画面表示	カメラ映像を１／９に縮小して、６台分を同時に中央部に表示します。 [1 2 3 / 4 5 6]
８分割画面表示	カメラ映像を３／４に縮小して、１台分を左上に１／16に縮小して、その他の部分に７台分を同時に表示します。 [1 2 3 4 / 5 6 7 8]
９分割画面表示	カメラ映像を１／９に縮小して、９台分を同時に表示します。 [1 2 3 / 4 5 6 / 7 8 9]
10分割画面表示	カメラ映像を１／４に縮小して、２台分を上側に、１／16に縮小して８台分を下側に同時に表示します。 [1 2 / 3 4 5 6 / 7 8 9 10]
16分割画面表示	カメラ映像を１／16に縮小して、モニタに16台分同時に表示します。 **ご注意** 接続するデジタルビデオレコーダがTSAM-R940の場合は、16分割画面は表示されません。 [1 2 3 4 / 5 6 7 8 / 9 10 11 12 / 13 14 15 16]
自動切換表示	複数のカメラ映像をモニタに自動的に一定時間で順次単画面または分割面表示します。
ズーム機能	ライブ映像及び再生映像の単画面静止画の任意の部分を２倍に拡大（ズーム）する機能です。ズーム機能については、“ズームについて”（26ページ）を参照ください。
コンビネーションカメラ操作	コンビネーションカメラＴＸＤ-7620のパン、チルト及びレンズ操作をスイッチで操作することができます。操作方法は、“コンビネーションカメラ操作”（32ページ）を参照ください。

各部のなまえとはたらき

■リモコン受信機

〔正 面 図〕

〔背 面 図〕

① 電源スイッチ
本機の供給電源を入、切します。

② リモコン受信部
本機付属のリモコン信号を受信します。

③ 受信ランプ
リモコン信号受信中に点灯します。

④ 異常ランプ
リモコン受信データが異常もしくは、ID が違う場合や、デジタルビデオレコーダと通信ができない場合に点灯します。

⑤ 電源ランプ
電源スイッチを入にすると、点灯します。

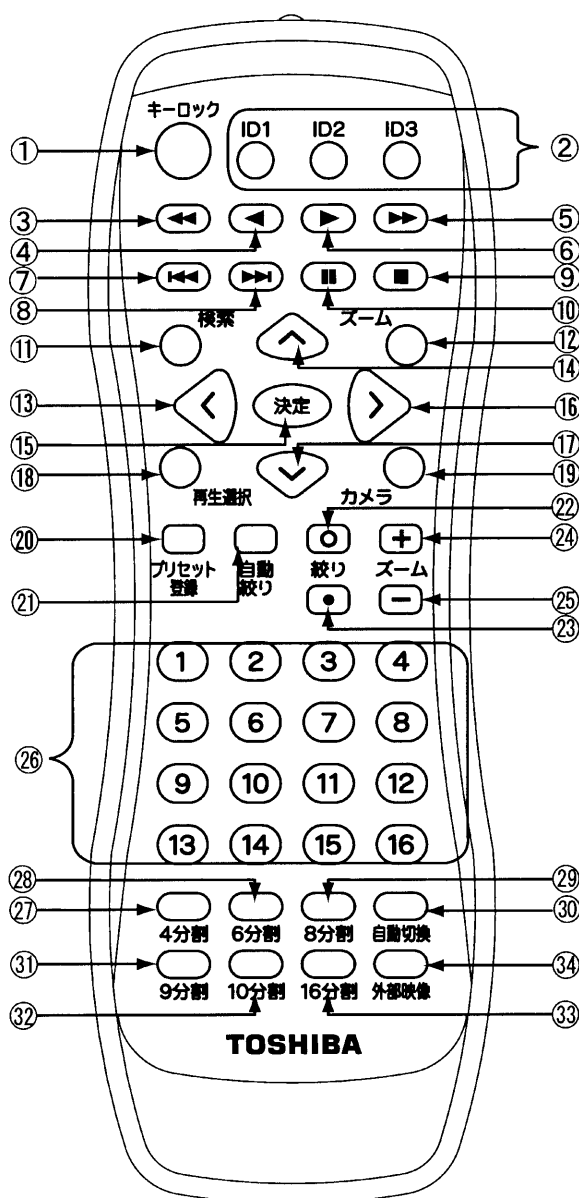
⑥ RS-485 入出力端子（2 出力）
RS-485 入出力端子です。

⑦ 8 ピンディップスイッチ
モニタ設定や ID 設定などを設定します。

⑧ 接地端子
D 種（第３種）設置をしてください。

⑨ ヒューズホルダ
4A のヒューズを内蔵したヒューズホルダです。
ヒューズを交換するときはドライバーで上部の穴を押すとヒューズが取り出せます。

⑩ 電源コード
電源コードのプラグを AC100V（50／60Hz）のコンセントに接続してください。

■リモコン送信機

① キーロックスイッチ
キーロック用スイッチです。

② ID 切換スイッチ
ID 切換用スイッチです。

③ 早戻しスイッチ
録画映像を逆再生中に早戻し再生する場合に押します。押すごとに、約2倍、約4倍、約6倍、約8倍、約10倍、約12倍、約20倍、約24倍、約」0.5倍の速度になります。一時停止中に早戻しスイッチを押すことによりコマ戻しを行うことができます。

④ 逆再生
録画映像を逆再生（1 倍）する場合に押します。

⑤ 早送りスイッチ
録画映像を再生中に早送り再生する場合に押します。押すごとに、約2倍、約4倍、約6倍、約8倍、約10倍、約12倍、約20倍、約24倍、約」0.5倍の速度になります。一時停止中に早送りスイッチを押すことによりコマ送りを行うことができます。

⑥ 再生
録画映像を再生（1 倍）する場合に押します。

⑦ スキップ送り
再生中に、現在再生している位置以降の録画データの頭出しを行います。

⑧ スキップ戻し
再生中に、現在再生している位置以前の録画データの頭出しを行います。

⑨ 停止スイッチ
再生中に停止スイッチを押すと再生を停止します。

⑩ 一時停止スイッチ
再生中に一時停止スイッチを押すと再生映像を一時停止することができます。
一時停止中に一時停止スイッチを押すことにより一時停止を解除することができます。

⑪ 検索スイッチ
ライブ画面または、再生画面時に検索スイッチを押すと検索画面にすることができます。

⑫ ズームスイッチ
単画面表示時に押すと２倍のデジタルズームを行うことができます。

⑬ 左カーソルスイッチ
検索画面、ズーム時、コンビネーションカメラ操作時左カーソルキースイッチとして使用します。

⑭ 上カーソルスイッチ
検索画面、ズーム時、コンビネーションカメラ操作時上カーソルスイッチとして使用します。

⑮ 決定スイッチ
ライブ画面又は再生画面時に押すと文字表示のON／OFF を行うことができます。
検索画面時は決定スイッチとして使用します。

⑯ 右スイッチ
検索画面、ズーム時、コンビネーションカメラ操作時右カーソルスイッチとして使用します。

⑰ 下カーソルスイッチ
検索画面、ズーム時、コンビネーションカメラ操作時下カーソルスイッチとして使用します。

⑱ 再生選択スイッチ
再生中に再生画面とライブ画面を切換えることができます。
（再生動作中でない場合は再生画面に切換わりません）

⑲ カメラモードスイッチ
コンビネーションカメラ操作に切換えることができます。

⑳ プリセット登録スイッチ
コンビネーションカメラ操作時にプリセット登録スイッチです。

㉑ 自動絞りスイッチ
コンビネーションカメラ操作時にアイリスを自動に設定するスイッチです。

㉒ 絞り開スイッチ
コンビネーションカメラ操作時にアイリスを開きます。

㉓ 絞り閉スイッチ
コンビネーションカメラ操作時にアイリスを閉めます。

㉔ ズームアップスイッチ
コンビネーションカメラ操作時にズームアップします。

㉕ ズームワイドスイッチ
コンビネーションカメラ操作時に広い範囲の映像になります。

㉖ カメラ１～１６の画面選択スイッチ
単画面表示のチャンネル選択を行います。

㉗ ４分割画面スイッチ
４分割画面の切り換えを行います。

㉘ ６分割画面スイッチ
６分割画面の切り換えを行います。

㉙ ８分割画面スイッチ
８分割画面の切り換えを行います。

㉚ 自動切換スイッチ
ライブ画面をモニタにて自動切換して各映像を表示する場合に押します。

㉛ ９分割画面スイッチ
９分割画面の切り換えを行います。

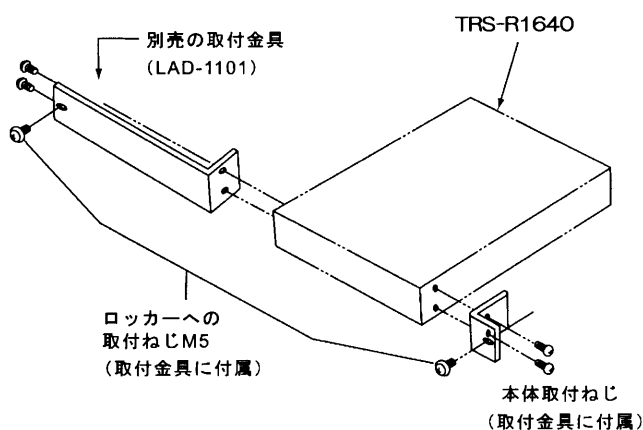
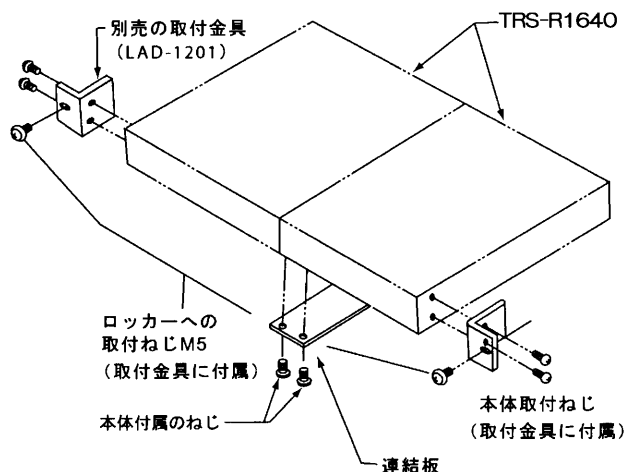
㉜ １０分割画面スイッチ
１０分割画面の切り換えを行います。

㉝ １６分割画面スイッチ
１６分割画面の切り換えを行います。

㉞ 外部映像スイッチ
外部映像に切換える場合に押します。

設置のしかた

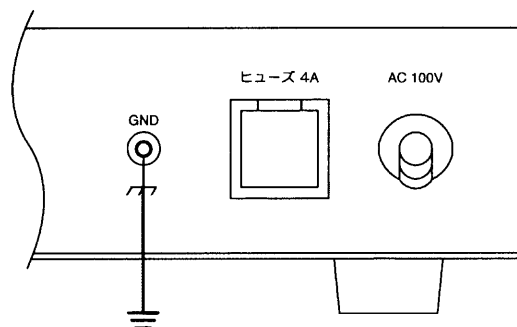
● 卓上形としてまたはEIAサイズのロッカーに取付けて使用できます。

● EIAサイズのロッカーに取付ける場合は、別売の取付金具を使って次のように取付けてください。
① 本機の底面のゴム足を全部取りはずします。
② 本体を2台組み合わせて取り付ける場合は、連結板（取付金具に付属）を各機器のゴム足取付けねじを使用して、機器の底面に取付けてください。
③ 図のように取付金具（別売）でラックに取付けてください。

単体取付の場合
（取付金具 LAD-1101 使用）

2台連結取付の場合
（取付金具 LAD-1201 使用）

工事店様へ

接地工事について

● 本機には外来ノイズから機器を守るためにノイズ吸収素子(サージアブソーバ)が電源ラインと筐体間に入っています。これらのノイズ吸収素子の働きを生かすために必ず接地端子を接地してください。

● 接地はD種(第3種)接地工事とし専用としてください。
照明用や動力用の接地と共用しますとこれらの機器からの影響をうけ誤動作の原因となりますので必ず専用接地としてください。

D種（第3種）接地工事

接続のしかた

ご注意

●リモコン受信ユニットが複数台で位置が近い場合は、ID 設定を行ってください。（20 ページ参照）
●本体（TRS-R1640）使用時はデジタルビデオレコーダ（TSAM-R1650）でモニタ出力２の映像選択ができなくなります。
●デジタルビデオレコーダ（TSAM-R1650）の全てのキー操作をリモコンで行うことはできません。
（メニュー画面操作、保存操作、異常ブザー停止等はリモコンで操作できません）

【接続コネクタ】

スクリューレス端子（3 端子）

【配線ケーブル】

ツイストペアケーブル２対（シールド付）
導体：0.5 mm 以上
最大配線距離：500 m

ご注意

●RS-485 の入出力１と入出力２は同一ポートとなっています。
●入出力１もしくは入出力２どちらか片方のみを使用する場合は、本体から接続されている終端された機器までの配線距離が最大 500 m となります。
●入出力１と入出力２の両方を使用する場合は、入出力１に接続されている終端された機器から、入出力２に接続されている終端された機器までの配線距離が合計最大 500 m となります。

【接続方法】

デジタルビデオレコーダ（TSAM-R1650）との接続方法は、下表に従って接続してください。

TSAM-R1650 RS-485 出力 1	TRS-R1640 RS-485 入出力 1	信号
＋	＋	信号線＋
—	—	信号線ー
GND	GND	信号アース

【信号方式】

シリアル通信（送受信）

【プログラム設定】

デジタルビデオレコーダ側で外部接続機器の設定（メニュー画面による設定）を ON にしてください。
設定の詳細はデジタルビデオレコーダの取扱説明書を参照してください。

【DIPSW 設定】

1) 設定内容

DIP SW	設定内容	
1	RS-485 の終端抵抗	
2	モニタ選択	モニタ 1
3		モニタ 2
4	ID 設定	
5		
6	応答設定	
7	カメラ制御設定	
8	モード設定	

2) 終端抵抗設定について（DIPSW1）

DIPSW1	設定内容
OFF	終端抵抗 OFF
ON	終端抵抗 ON

3) モニタ選択設定について（DIPSW2、3）

DIPSW2	DIPSW3	設定
OFF	OFF	禁止
ON	OFF	モニタ 1 を操作する場合設定
OFF	ON	モニタ 2 を操作する場合設定
ON	ON	モニタ 1 と 2 を操作する場合設定

4) ID 設定について（DIPSW4、5）

DIPSW4	DIPSW5	設定
OFF	OFF	リモコン ID 設定を使用しない
OFF	ON	リモコン ID1 のデータを受信する
ON	OFF	リモコン ID2 のデータを受信する
ON	ON	リモコン ID3 のデータを受信する

※ モニタ選択設定の DIPSW2、3 が両方とも “ON” の場合は ID 設定は無効になります。

5) 応答設定について（DIPSW6）

DIPSW6	設定
OFF	1 台のデジタルビデオレコーダに赤外線リモコン受信機 1 台のみ接続する場合
ON	1 台のデジタルビデオレコーダに赤外線リモコン受信機を接続する場合 1 台目は ON（2 台目は OFF）

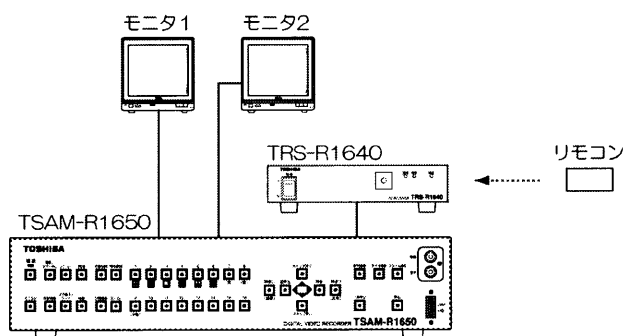
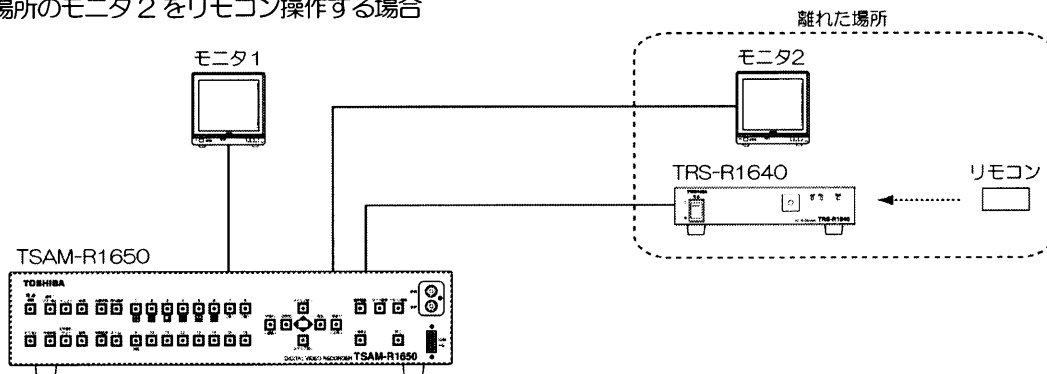
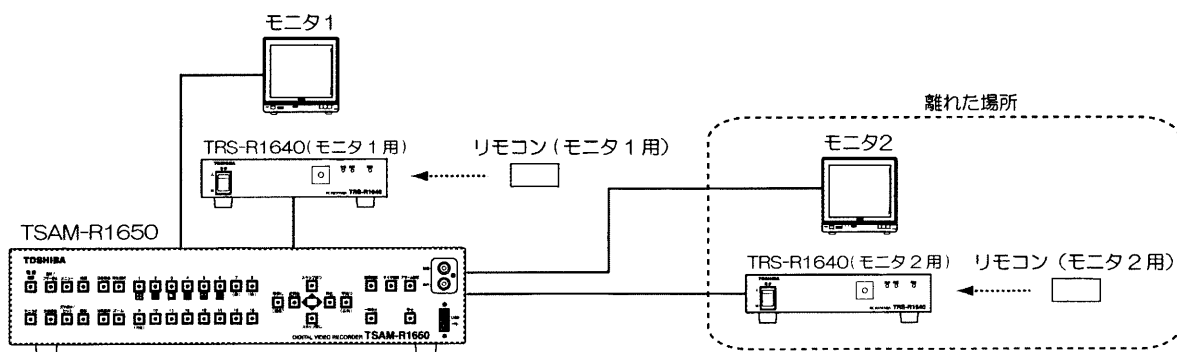
6) カメラ制御設定について（DIPSW7）

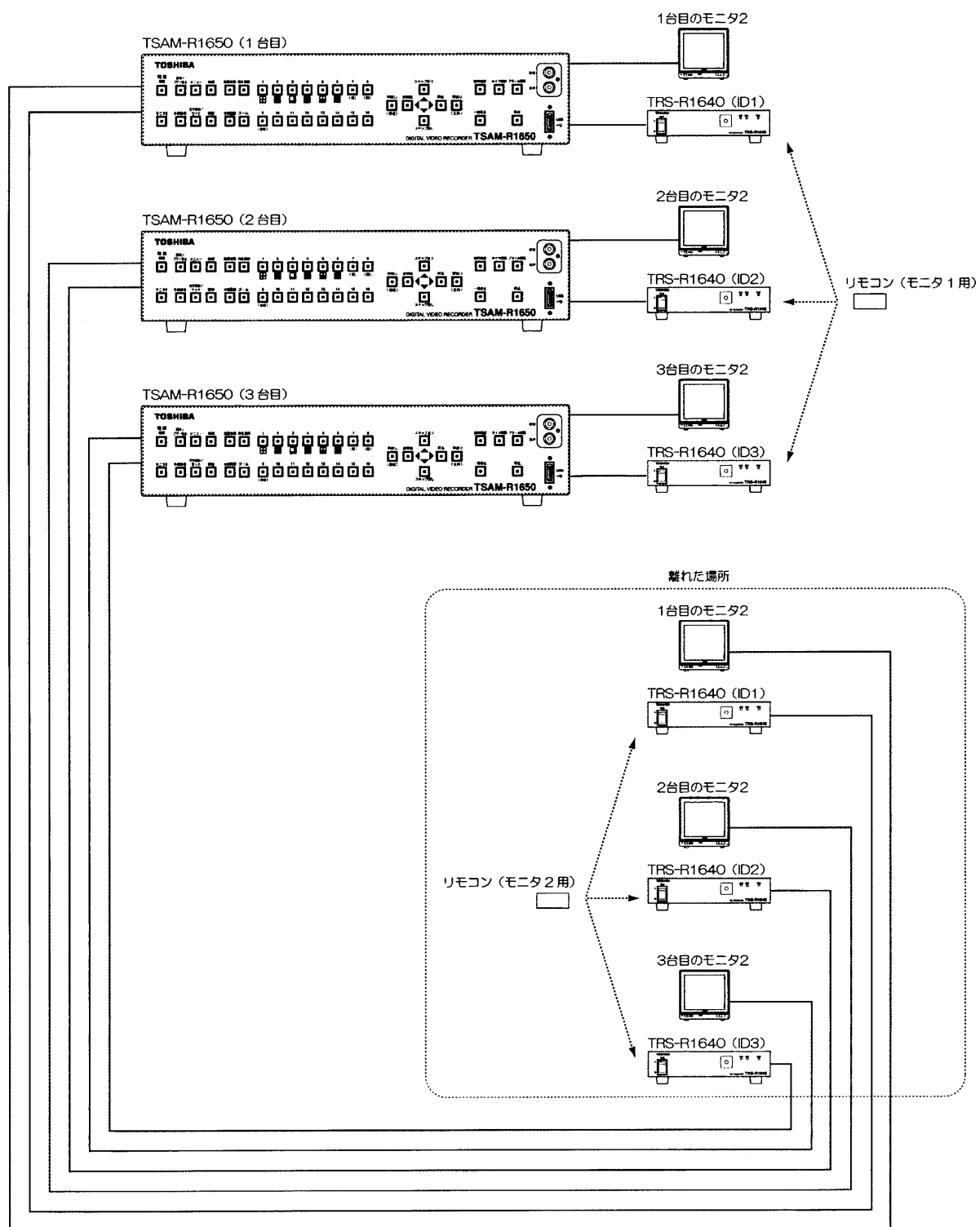
DIPSW7	設定
OFF	TSAM-R940、TSAM-R1650 使用時 ON に設定してください。
ON	TSAM-R930、TSAM-R1630 使用時 OFF に設定してください。

7) モード設定について（DIPSW8）

DIPSW8	設定
OFF	TSAM-R940、TSAM-R1650 使用時 OFF に設定してください。
ON	TSAM-R930、TSAM-R1630 使用時 ON に設定してください。

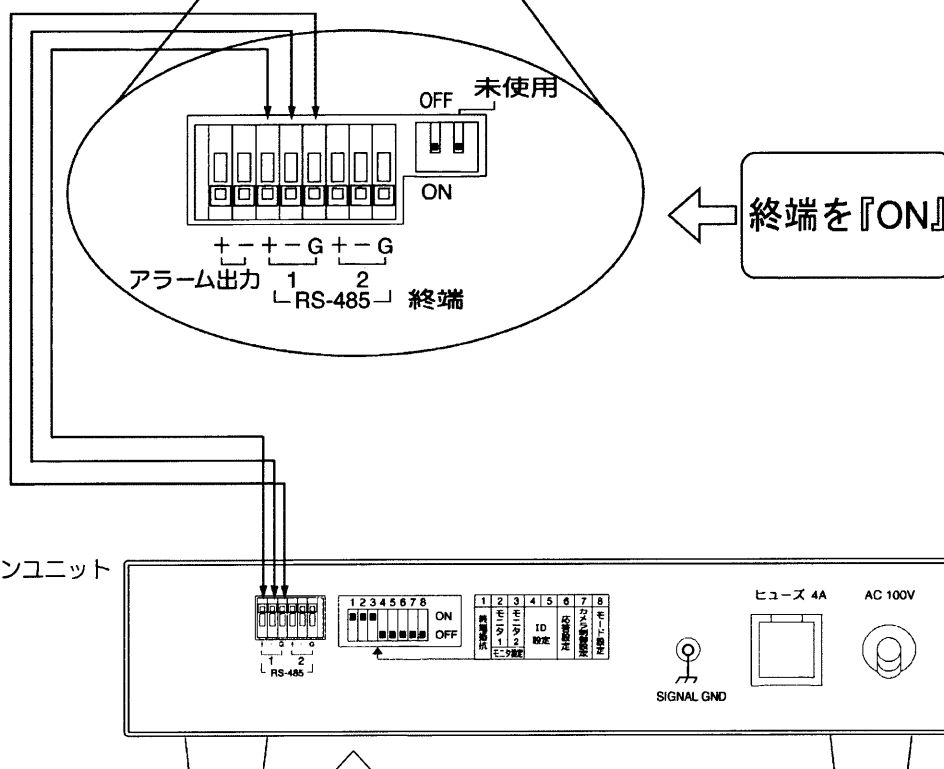
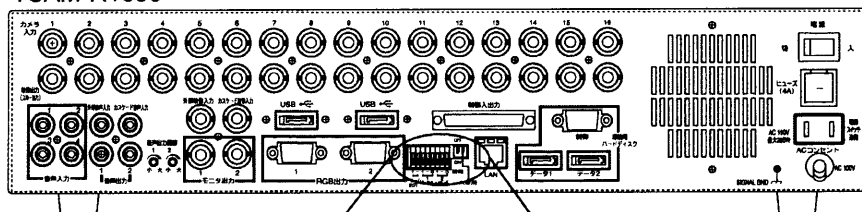
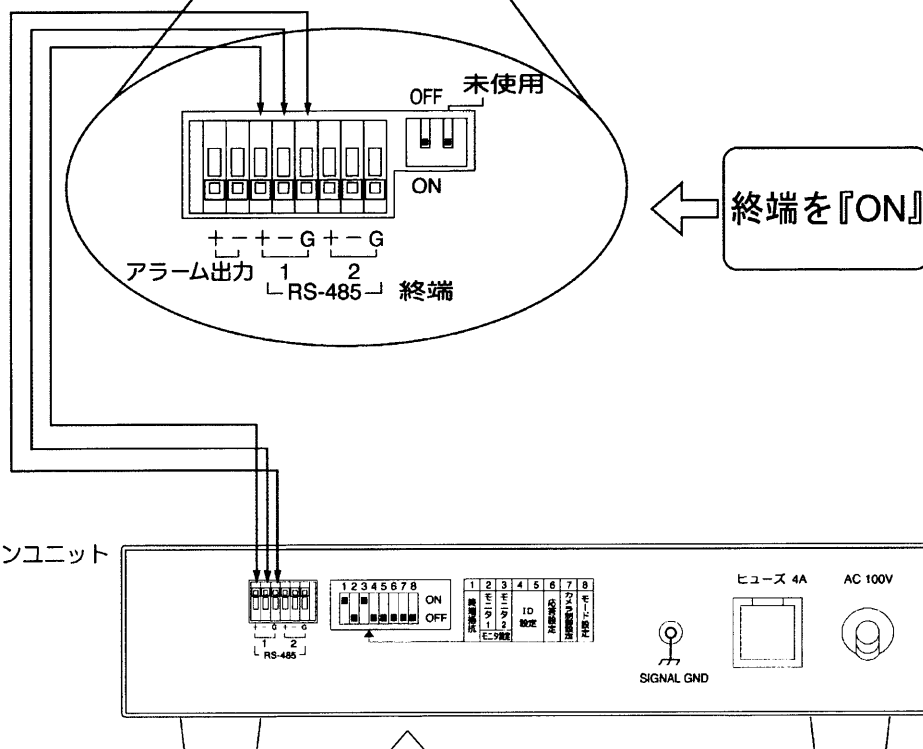
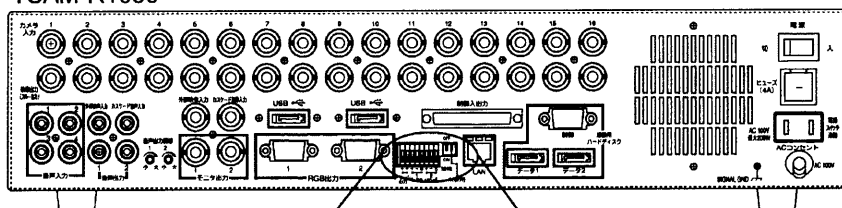
■設置例

パターン１
モニタ１とモニタ２をリモコン操作する場合
モニタ1
モニタ2
TRS-R1640
リモコン
TSAM-R1650
TOSHIBA
TSAM-R1650
接続方法は“モニタ１とモニタ２をリモコン操作する場合の接続”（17 ページ参照）

パターン２
離れた場所のモニタ２をリモコン操作する場合
離れた場所
モニタ1
モニタ2
TRS-R1640
リモコン
TSAM-R1650
TOSHIBA
TSAM-R1650
接続方法は“離れた場所のモニタ２を操作する場合の接続”（18 ページ参照）

パターン３
モニタ１と離れているモニタ２をそれぞれでリモコン操作する場合
モニタ1
離れた場所
TRS-R1640(モニタ１用)
リモコン(モニタ１用)
モニタ2
TSAM-R1650
TOSHIBA
TSAM-R1650
TRS-R1640(モニタ２用)
リモコン（モニタ２用）
接続方法は“モニタ１と離れているモニタ２をそれぞれリモコン操作する場合の接続”（19 ページ参照）

パターン4
複数台（最大3台）のデジタルビデオレコーダに対してリモコン操作する場合
TSAM-R1650（1台目）
1台目のモニタ2
TRS-R1640（ID1）
TSAM-R1650（2台目）
2台目のモニタ2
TRS-R1640（ID2）
リモコン（モニタ１用）
TSAM-R1650（3台目）
3台目のモニタ2
TRS-R1640（ID3）
離れた場所
1台目のモニタ2
TRS-R1640（ID1）
2台目のモニタ2
TRS-R1640（ID2）
リモコン（モニタ２用）
3台目のモニタ2
TRS-R1640（ID3）
接続方法は“複数台（最大３台）のデジタルビデオレコーダに対してリモコン操作する場合の接続”（20ページ参照）

■モニタ１とモニタ２をリモコン操作する場合の接続

● 本体（TRS-R1640）の RS-485 入出力端子１を、デジタルビデオレコーダ（TSAM-R1650）の RS-485 出力端子１（スクリューレス端子）に接続してください。

デジタルビデオレコーダ
TSAM-R1650

OFF 未使用
ON
終端を『ON』
＋ − ＋ − G ＋ − G
アラーム出力 1 2
RS-485 終端

赤外線リモコンユニット
TRS-R1640

DIPSW 設定を下表に従って設定してください。

DIPSW	設定内容	設定
1	終端抵抗設定	ON
2	モニタ１設定	ON
3	モニタ２設定	ON
4	ID 設定	OFF
5		OFF
6	応答設定	OFF
7	カメラ制御設定	OFF
8	モード設定	OFF

ご注意

●デジタルセレクタの電源は、デジタルビデオレコーダの電源投入以前に投入してください。
デジタルビデオレコーダの電源投入以後に電源を入れますと、正常に動作しない場合があります。
●RS-485 出力２を使用する場合は終端を“OFF”に設定してください。

■ 離れた場所のモニタ2をリモコン操作する場合の接続

● 本体（TRS-R1640）の RS-485 入出力端子 1 を、デジタルビデオレコーダ（TSAM-R1650）の RS-485 出力端子 1（スクリューレス端子）に接続してください。

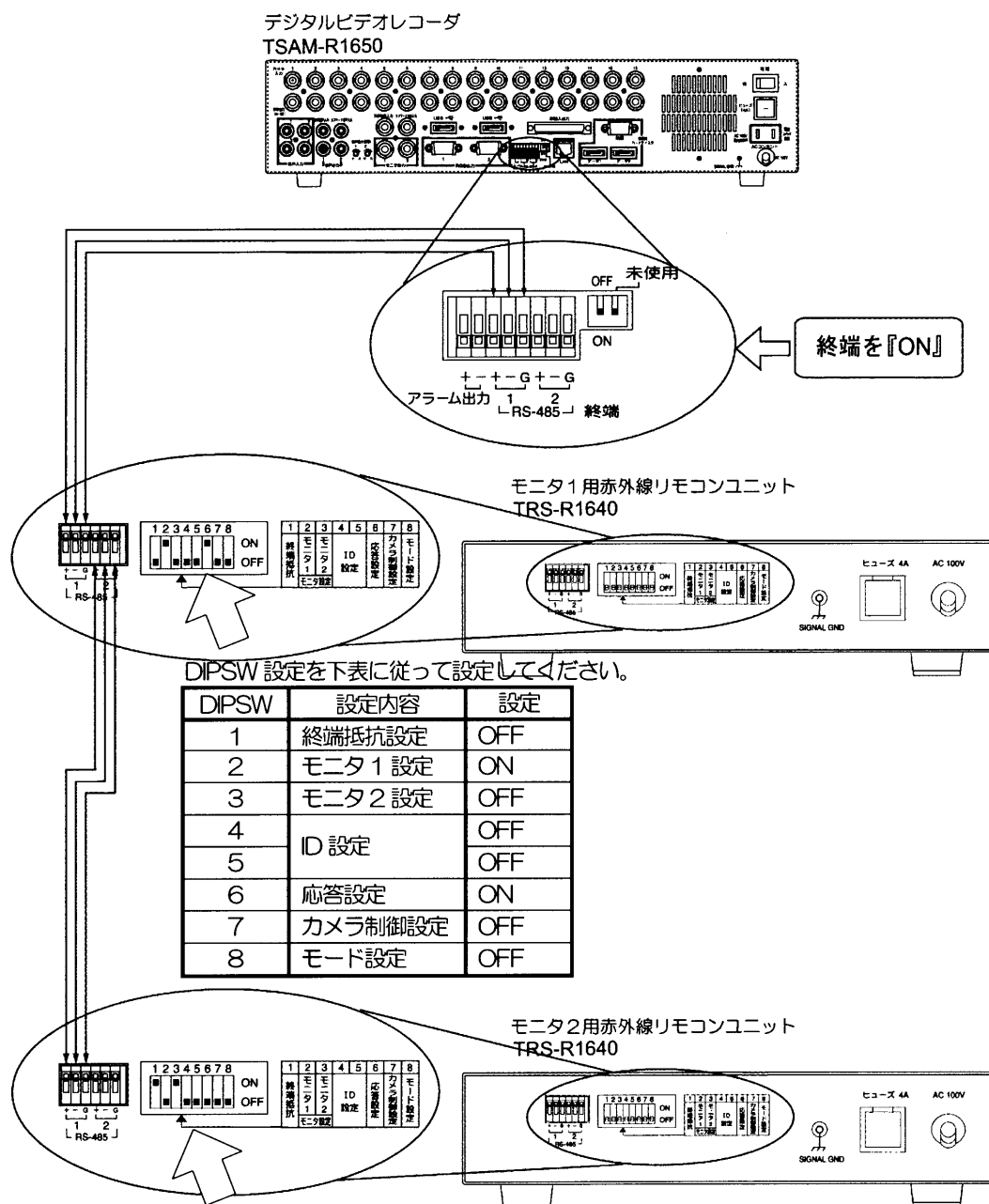
DIPSW	設定内容	設定
1	終端抵抗設定	ON
2	モニタ 1 設定	OFF
3	モニタ 2 設定	ON
4	ID 設定	OFF
5		OFF
6	応答設定	OFF
7	カメラ制御設定	OFF
8	モード設定	OFF

ご注意

●デジタルセレクタの電源は、デジタルビデオレコーダの電源投入以前に投入してください。
デジタルビデオレコーダの電源投入以後に電源を入れますと、正常に動作しない場合があります。

●RS-485 出力 2 を使用する場合は終端を “OFF” に設定してください。

■ モニタ1と離れているモニタ2をそれぞれでリモコン操作する場合の接続

● 1台目の本体（TRS-R1640）のRS-485 入出力端子1 を、デジタルビデオレコーダ（TSAM-R1650）のRS-485 出力端子1（スクリューレス端子）に接続してください。1台目の本体（TRS-R1640）のRS-485 入出力端子2を、2台目の本体（TRS-R1640）の入出力端子1に接続してください。

DIPSW	設定内容	設定
1	終端抵抗設定	OFF
2	モニタ１設定	ON
3	モニタ２設定	OFF
4	ID 設定	OFF
5		OFF
6	応答設定	ON
7	カメラ制御設定	OFF
8	モード設定	OFF

DIPSW	設定内容	設定
1	終端抵抗設定	ON
2	モニタ１設定	OFF
3	モニタ２設定	ON
4	ID 設定	OFF
5		OFF
6	応答設定	OFF
7	カメラ制御設定	OFF
8	モード設定	OFF

ご注意

●デジタルセレクタの電源は、デジタルビデオレコーダの電源投入以前に投入してください。
デジタルビデオレコーダの電源投入以後に電源を入れますと、正常に動作しない場合があります。

■ 複数台（最大3台）のデジタルビデオレコーダに対してリモコン操作する場合の接続

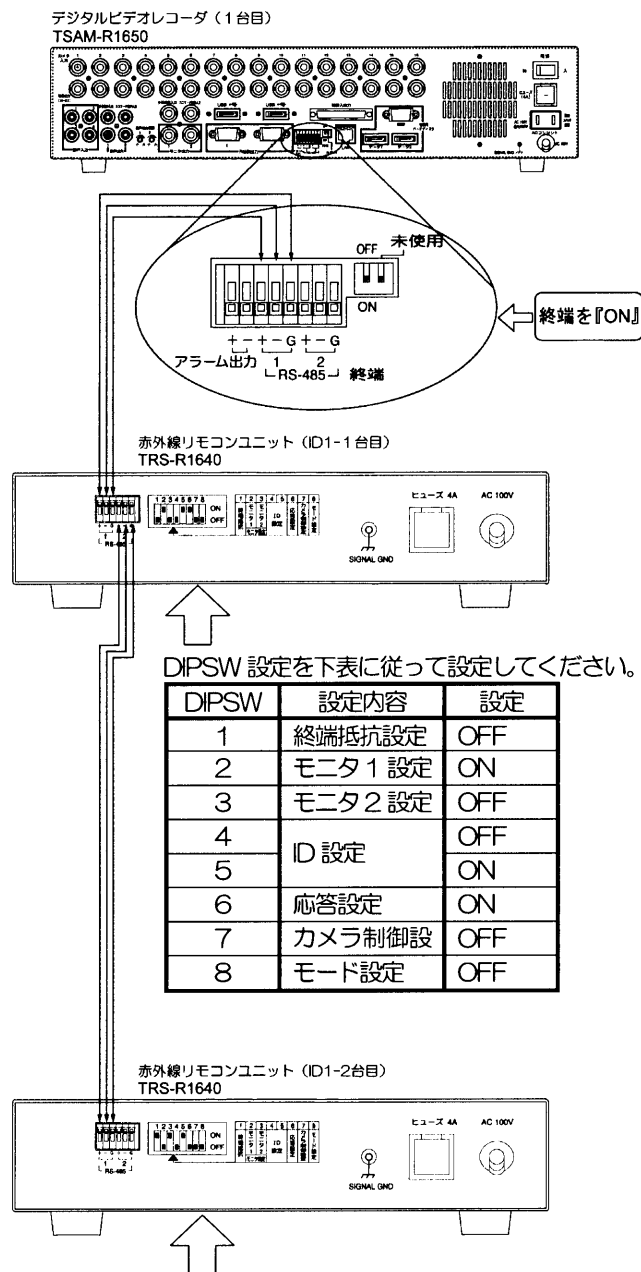
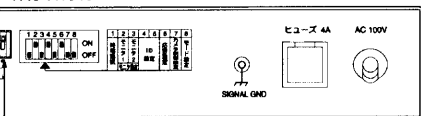
● 本体（TRS-R1640）の RS-485 入出力端子１を、デジタルビデオレコーダ（TSAM-R1650）の RS-485 出力端子１（スクリューレス端子）に接続してください。

ご注意

●複数のデジタルビデオレコーダを１つのリモコンで制御する場合、１台のリモコン受信ユニットでモニタ１、モニタ２両方を制御することはできません。
（P17 の設定はできません）

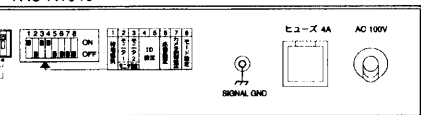
DIPSW 設定を下表に従って設定してください。

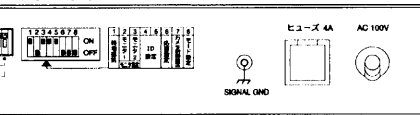
DIPSW	設定内容	設定
1	終端抵抗設定	OFF
2	モニタ１設定	ON
3	モニタ２設定	OFF
4	ID 設定	OFF
5		ON
6	応答設定	ON
7	カメラ制御設	OFF
8	モード設定	OFF

DIPSW 設定を下表に従って設定してください。

DIPSW	設定内容	設定
1	終端抵抗設定	ON
2	モニタ１設定	OFF
3	モニタ２設定	ON
4	ID 設定	OFF
5		ON
6	応答設定	OFF
7	カメラ制御設	OFF
8	モード設定	OFF

DIPSW 設定を下表に従って設定してください。

DIPSW	設定内容	設定
1	終端抵抗設定	OFF
2	モニタ１設定	ON
3	モニタ２設定	OFF
4	ID 設定	ON
5		OFF
6	応答設定	ON
7	カメラ制御設	OFF
8	モード設定	OFF

DIPSW 設定を下表に従って設定してください。

DIPSW	設定内容	設定
1	終端抵抗設定	OFF
2	モニタ１設定	ON
3	モニタ２設定	OFF
4	ID 設定	ON
5		ON
6	応答設定	ON
7	カメラ制御設	OFF
8	モード設定	OFF

DIPSW 設定を下表に従って設定してください。

DIPSW	設定内容	設定
1	終端抵抗設定	ON
2	モニタ１設定	OFF
3	モニタ２設定	ON
4	ID 設定	ON
5		OFF
6	応答設定	OFF
7	カメラ制御設	OFF
8	モード設定	OFF

DIPSW 設定を下表に従って設定してください。

DIPSW	設定内容	設定
1	終端抵抗設定	ON
2	モニタ１設定	OFF
3	モニタ２設定	ON
4	ID 設定	ON
5		ON
6	応答設定	OFF
7	カメラ制御設	OFF
8	モード設定	OFF

ご注意

●デジタルセレクタの電源は、デジタルビデオレコーダの電源投入以前に投入してください。
デジタルビデオレコーダの電源投入以後に電源を入れますと、正常に動作しない場合があります。

リモコン送信機について

● 操作のしかた

リモコン送信機（以下、リモコン）の赤外線発光部をリモコン受信機前面にある受光部に向け、希望する動作のボタンを押します。

● 受信可能範囲

約2m

ご注意

太陽光やインバータ蛍光灯の近くなど、周囲の状況により受信可能範囲が短くなったり、受信しないことがあります。その場合は受信側の設置場所を変更するか、太陽光を遮るなどの対処をしてください。

● 電池の交換について

リモコンの裏面にある［▼］のマークを矢印の方向へ押して電池ケースカバーをはずします。
電池ケース内にある極性の表示（＋／－）に従い、単４アルカリ電池２個に入れかえてください。

ご注意

- 出荷時は、電池を収納していませんので付属の電池を２個入れてください。
- 極性（＋／－の向き）には十分注意してください。
- 乾電池は必ず単4アルカリ電池を使用してください。
- 少なくとも年に一度は電池を交換してください。
- 付属品の電池は最初の動作確認用のものです。有効使用期間は保証しておりません。

<生産完了 2010年03月01日>

使いかた

ここでは、本機の基本的な操作を説明します。

起動

① 各機器が正しく接続されているか確認してください。
② 本体（TRS-R1640）の電源を投入してから、デジタルビデオレコーダの電源を入れてください。

終了

①「電源」スイッチを「切」にします。

接続（設定）方法に対しての操作方法の違いについて

下記の２つの接続（設定）方法の場合、リモコンの操作をする前に ID ボタンを押す必要があります。
その他の接続（設定）時は ID ボタンを押す必要はありません。

モニタ１とモニタ２をリモコン操作する場合

- モニタ１側を操作する場合
  リモコンの「ID1 ○（ID1）」ボタンを押した後に操作してください。
  ＊モニタ１側で続けて操作する場合、再度 ID１を押す必要はありません。

- モニタ２側を操作する場合
  リモコンの「ID2 ○（ID2）」ボタンを押した後に操作してください。
  ＊モニタ２側で続けて操作する場合、再度 D２を押す必要はありません。

複数台（最大３台）のデジタルビデオレコーダに対してリモコン操作する場合

- １台目のデジタルビデオレコーダを操作する場合
  リモコンの「ID1 ○（ID1）」ボタンを押した後に操作してください。
  ＊１台目のデジタルビデオレコーダを続けて操作する場合、再度 ID１を押す必要はありません。

- ２台目のデジタルビデオレコーダを操作する場合
  リモコンの「ID2 ○（ID2）」ボタンを押した後に操作してください。
  ＊２台目のデジタルビデオレコーダを続けて操作する場合、再度 ID２を押す必要はありません。

- ３台目のデジタルビデオレコーダを操作する場合
  リモコンの「ID3 ○（ID3）」ボタンを押した後に操作してください。
  ＊１台目のデジタルビデオレコーダを続けて操作する場合、再度 ID３を押す必要はありません。

操作のしかた

■キー操作権限（キーロック）について

デジタルビデオレコーダのキー操作は権限によって、操作できる内容を制限することができます。

● 電源をOFFしてもキーロックは保持されます。

キーロックパスワードの設定のしかた

キーロックパスワードは、任意の数字4桁で設定ができます。
キーロックパスワードの変更の仕方は、デジタルビデオレコーダの取扱説明書を参照してください。

キーロックのしかた

「キーロック◯（キーロック）」ボタンを約3秒間長押しします。
ブザー音が鳴り画面左下に“キーロック”と表示され、キーロックされます。

キーロック解除のしかた

①「キーロック◯（キーロック）」ボタンを約3秒間長押しします。
（画面に“パスワードを入力してください”と表示されます）

② 4桁のキーロックパスワードを押します。

③「キーロック◯（キーロック）」ボタンを約3秒間長押しします。
キーロックが解除されます。ブザー音が鳴り、画面左下に“キーロック解除（＊＊＊＊）”と表示されます。
＊＊＊＊には、解除した権限が表示されます。

キーロックの権限を変更する場合は、一度キーロックを行った後に、キーロック解除操作を行い、
解除したい権限のパスワードを入力してください。

■画面切換について

● 本機には、単画面と分割画面を表示する機能を持っています。

● 分割画面は、４分割（４パターン）、６分割（３パターン）、８分割（３パターン）、９分割（３パターン）、10分割（４パターン）、16分割（１パターン）の６種類（18パターン）があります。

ご注意
●検索画面、コンビネーションカメラ操作、ズーム時は操作できません。

再生中のライブ画面と再生映像の切換のしかた

①「◯再生選択（再生選択）」ボタンを押します。

② ライブ画面を表示していた場合は、再生映像表示（一時停止）に切換わります。
再生映像を表示していた場合は、ライブ画面映像表示に切換わります。

③ 次ページのカメラ、分割画面選択方法を参考にして、見たい画像を表示してください。

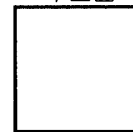
ご注意
●再生動作していない場合は、ライブ画面表示時に「◯再生選択（再生選択）」ボタンを押しても再生映像に切換わりません。（“ピッ”とエラー音が鳴ります。）
●検索画面、コンビネーションカメラ操作、ズーム時は操作できません。

＜生産完了 2010年03月01日＞
TRS-R1640 (24 / 36)

カメラ、分割画面選択方法

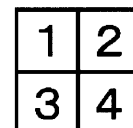
[1台のカメラを単画面表示で見るとき]

① 「①」～「⑯」のボタンを押します。

単画面

[4分割画面で見るとき]

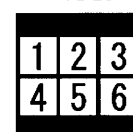
① 「（4分割）」ボタンを押します。
② 1回押すと4－Aが表示されます。
　2回押すと4－Bが表示されます。
　3回押すと4－Cが表示されます。
　4回押すと4－Dが表示されます。

4分割

1	2
3	4

[6分割画面で見るとき]

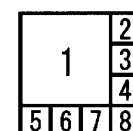
① 「（6分割）」ボタンを押します。
② 1回押すと6－Aが表示されます。
　2回押すと6－Bが表示されます。
　3回押すと6－Cが表示されます。

6分割

1	2	3
4	5	6

[8分割画面で見るとき]

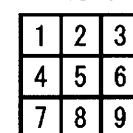
① 「（8分割）」ボタンを押します。
② 1回押すと8－Aが表示されます。
　2回押すと8－Bが表示されます。
　3回押すと8－Cが表示されます。

8分割

1 2 3 4 5 6 7 8

[9分割画面で見るとき]

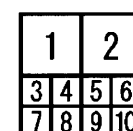
① 「（9分割）」ボタンを押します。
② 1回押すと9－Aが表示されます。
　2回押すと9－Bが表示されます。
　3回押すと9－Cが表示されます。

9分割

1	2	3
4	5	6
7	8	9

[10分割画面で見るとき]

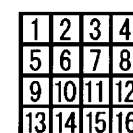
① 「（10分割）」ボタンを押します。
② 1回押すと10－Aが表示されます。
　2回押すと10－Bが表示されます。
　3回押すと10－Cが表示されます。
　4回押すと10－Dが表示されます。

10分割

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

[16分割画面で見るとき]

① 「（16分割）」ボタンを押します。16分割で表示されます。

16分割

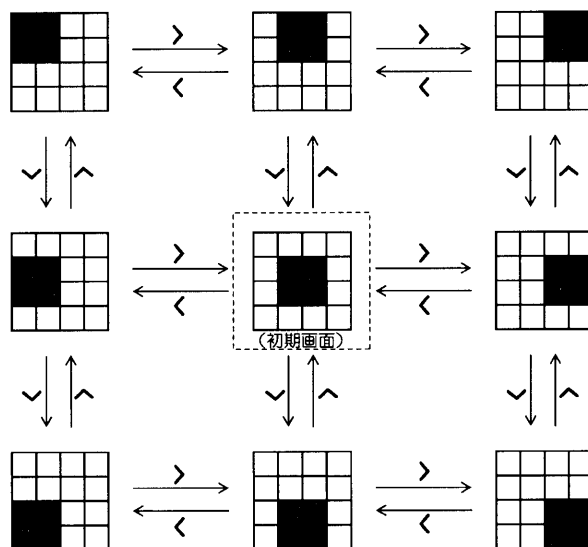
1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	16

ご注意

- 接続するビデオレコーダがTSAM-R940の場合、16分割画面表示はされません。
- デジタルビデオレコーダのメニュー画面設定で、分割画面の中のすべての画面にOFF設定した場合は、自動的にその画面はスキップされ表示されません。

■ズームについて

- 本機は、単画面表示時に２倍と４倍のデジタルズーム機能をもっています。
- ライブ画面時または、再生画面を単画面で表示している場合のみズームを行うことができます。
- ズーム表示中は「ズーム（ズーム）」、「＾」、「∨」、「＜」、「＞」ボタン以外は操作できません。
- ズームできる範囲は下記の９ヶ所です。

【ズームでできる範囲の説明図】　（モニタ画面に格子は表示されません。）

ズームされて表示される範囲：

［ズーム操作］

① ライブ画面または、再生画面にてズームしたいカメラを単画面表示します。
② 「ズーム（ズーム）」ボタンを押します。（画面に“ズーム”と表示されます）
③ 画面の中央部が２倍にズームされて表示されます。
（４倍にズームしたい場合は、再度「ズーム（ズーム）」ボタンを押してください）
④ 別の部分をズームしたい場合は、「＾」、「∨」、「＜」、「＞」ボタン操作で位置を変更できます。

［ズーム操作終了］

① 「ズーム（ズーム）」ボタンを押します。（画面の“ズーム”文字が消えます）
（２倍ズーム時は、「ズーム（ズーム）」ボタンを再度押してください）
② 単画面表示にもどります。

> **ご注意**
> ●分割画面ではズームを行うことができません。

■外部映像について

- 外部映像入力を見ることができます。（外部音声入力の音声も連動して音声出力に出力します）

① 「外部映像（外部映像）」ボタンを押します。外部映像が表示されます。
※ 再度「外部映像（外部映像）」ボタンを押すと、ライブ映像が表示されます。

> **ご注意**
> ●検索画面、コンビネーションカメラ操作、ズーム時は操作できません。

■ 検索について

検索方法は下記の下記の３種類あります。

① 日時検索	：年、月、日、時、分、秒を指定して検索します。
② 録画開始サーチ	：録画開始（通常録画、アラーム録画、タイマ録画）位置の検索を行います。
③ アラーム録画開始サーチ	：アラーム録画開始位置の検索を行います。

検索のしかた

● **日時検索**

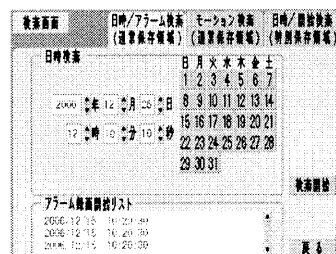
指定した時刻の録画データがある場合　・・・　指定された時刻の録画映像が一時停止した状態で表示されます。

指定した時刻の録画データがない場合　・・・　指定した時刻よりも後の、もっとも近い時刻の録画映像が、一時停止した状態で表示されます。指定した時刻以降の、録画データがない場合は、エラーメッセージを表示して、検索画面に戻ります。

[日時検索の方法]

① 「検索（検索）」ボタンを押します。

② 検索画面が表示されます。

③ 「（早送り）」ボタンまたは、「（早戻し）」ボタンで検索対象を変更します。
（検索画面を押した直後の検索対象はハードディスク通常保存領域です）

検索対象	内　容
日時／アラーム検索（通常保存領域）	録画データを検索する時に指定します。
モーション検索（通常保存領域）	モーション検索を行うときに指定します。
日時／開始検索（特別保存領域）	特別保存領域に保存した録画データを検索するときに指定します。

④ 「＞」ボタン「＜」ボタンでカーソルを変更したい項目に合わせます。

⑤ 「∧」ボタン「∨」ボタンで設定値を変更します。
同様にして、他の項目（年、月、日、時、分、秒）も変更してください。

⑥ 日時の設定を行ったら、「決定（決定）」ボタンを押して検索します。
指定した時刻があれば一時停止した状態で表示されますので、「（一時停止）」ボタン、「（再生）」ボタン、「（逆再生）」ボタンを押して再生してください。

※ 検索を中止する場合は「検索（検索）」ボタンで中止できます。

ご注意

● メニュー画面、保存画面、コンビネーションカメラ操作、ズーム時は操作できません。

● デジタルビデオレコーダまたは、ＬＡＮ接続されたパソコンにて再生・保存動作している時は操作できません。

● 録画開始サーチ

録画開始サーチは再生モード時に行うことができます。
通常録画、タイマ録画、アラーム録画の録画開始を検索します。

録画開始位置がある場合　・・・　録画開始位置の録画映像が一時停止した状態で表示されます。
録画開始位置がない場合　・・・　エラーメッセージを５秒間表示し、現在の再生モードを継続します。

[再生位置より後の録画開始位置の検索方法]

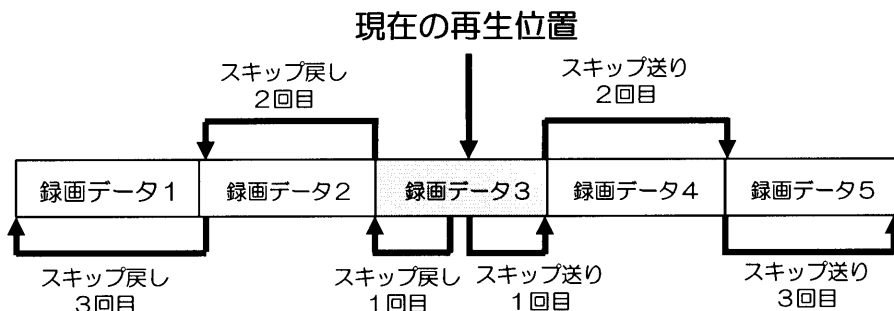
① 再生中に「⏭（スキップ送り）」ボタンを押します。
② 再生位置から後ろの録画開始を検索し、開始位置がある場合は、録画開始位置で一時停止した状態で表示しますので、「▶（再生）」ボタンを押して再生してください。（録画開始位置がない場合は、現在の再生モードを継続します。）

[再生位置より前の録画開始位置の検索方法]

① 再生中に「⏮（スキップ戻し）」ボタンを押します。
② 再生位置から前の録画開始を検索し、開始位置がある場合は、録画開始位置で一時停止した状態で表示しますので、「▶（再生）」ボタンまたは「■（一時停止）」ボタンを押して再生してください。（録画開始位置がない場合は、現在の再生モードを継続します。）

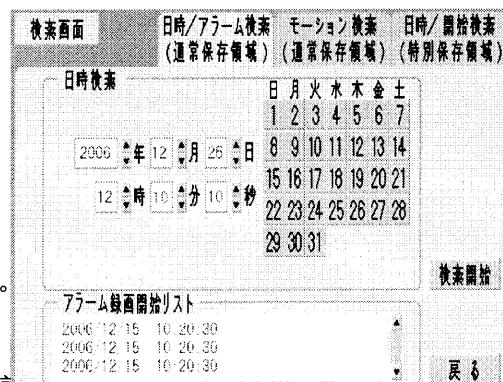
ご注意
- 再生モード時で、モニタ表示が再生選択中の場合に、スキップ送り、スキップ戻しの操作をすることができます。

[録画開始サーチの説明図]

現在の再生位置

● アラーム録画開始サーチ

50個前までのアラーム録画の開始位置を検索できます。

① 「検索（検索）」ボタンを押します。
② 検索画面が表示されます。
③ 「⏩（早送り）」ボタンまたは、「⏪（早戻し）」ボタンで検索対象を"ハードディスク通常保存領域"に変更します。
（検索画面を押した直後の検索対象はハードディスク通常保存領域ですので変更する必要はありません）
④ 「＞」ボタンまたは、「＜」ボタンでカーソルを移動します。アラーム録画開始番号を選び、
「決定（決定）」ボタンを押して検索します。
１～５以外の開始位置を検索する場合は「次ページ」または「前ページ」でページを変更し、再生したいアラーム録画開始位置で一時停止した状態で表示します。
※ 検索を中止する場合は「検索（検索）」ボタンで中止できます。

ご注意
- メニュー画面、保存画面、コンビネーション操作時、ズーム時は操作できません。
- セレクタまたは、ＬＡＮ接続されたパソコンにて再生・保存動作している時は操作できません。

● モーション検索

通常保存領域に保存されている録画データに対して、検索範囲時間内の指定エリアで、変化した部分を50個まで検索できます。

① 「検索（検索）」ボタンを押します。

② 検索画面が表示されます。

③ 「▶▶（早送り）」ボタンまたは、「◀◀（早戻し）」ボタンで検索対象を“モーション検索（通常保存領域）”に変更します。

④ 「＞」ボタンまたは、「＜」ボタンで“①検索カメラ”にカーソルを合わせ、「∧」ボタン「∨」ボタンで検索対象カメラを設定します。（設定範囲：カメラ１～１６）

⑤ 「＞」ボタンまたは、「＜」ボタンで“②検索レベル”にカーソルを合わせ、「∧」ボタン「∨」ボタンで検索の検知レベルを設定します。（設定範囲：レベル１～１０）
検索レベルが低い場合、検索時間は早くなりますが検知精度は低くなります。

⑥ 「＞」ボタンまたは、「＜」ボタンで“③検索範囲”にカーソルを合わせ「文字表示／セット」スイッチを押します。範囲設定画面に表示が切り替わります。

⑦ 「＞」ボタン「＜」ボタン「∧」ボタン「∨」ボタンを押してカーソルを、検索対象設定したいエリアに移動し、「決定（決定）」ボタンを押します。検索対象エリアの設定が終わったら「検索（検索）」ボタンを押します。

エリア表示	内　容
無色（素通し）	監視対象無効設定エリア
黄色	監視対象設定エリア

※同様の操作を繰返し、検出エリア設定を行います。

※検索対象設定エリアを無効に設定したい場合は、検索対象設定エリアにて、決定（決定）」ボタンを押し検索対象を無効に設定できます。（黄色から無色になります。）

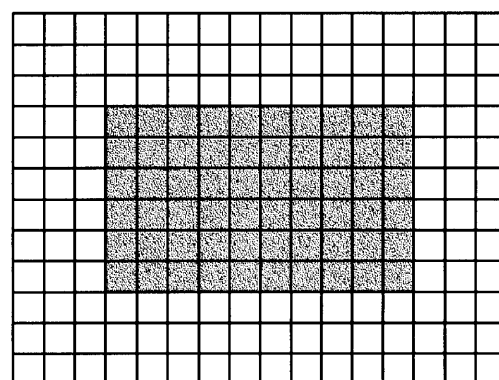
⑧ 検索時間範囲を設定します。「＞」ボタン「＜」ボタンでカーソルを変更したい項目に合わせます。

⑨ 「∧」ボタン「∨」ボタンで設定値を変更します。同様にして、他の項目（年、月、日、時、分）も変更してください。

⑩ 日時設定後、“検索開始”にカーソルを合わせ「決定（決定）」ボタン押して検索をします。変化検知した場合、検出リストに表示されます。
（最後に検出した映像は静止画で表示されます）

⑪ 検索終了もしくは、検索中止後「＞」ボタン「＜」ボタンでカーソルを検出リストに合わせます。
選択した検出リストに合わせると、リストの映像が静止画で表示されます。

⑫ 再生したい映像がある場合「決定（決定）」ボタンを押してください。一時停止した状態で表示されますので、「▶（再生）」ボタンまたは「II（一時停止）」ボタンを押して再生してください。

※ 検索を中止する場合は“検索中止”にカーソルを合わせ「文字表示／セット」スイッチを押してください。

ご注意

- 検索範囲時間内でも、検出リストが50件を超えた場合検索を終了します。
- 検出レベルが低い場合は、変化検知ができない場合があります。
（その場合は検出レベルを上げてください）

■ 再生について

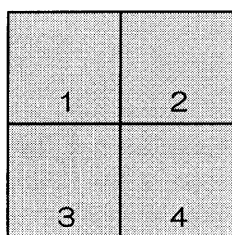
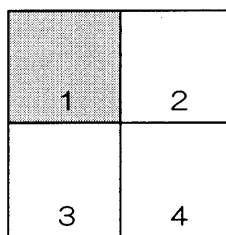
● 再生機能は録画機能と独立しているため、録画中でも記録データを再生することができます。

ご注意
● デジタルビデオレコーダの操作により、セレクタ側の再生を強制停止することができます。その場合、再生が停止されます。

再生表示モードについて

再生表示モードは２種類あります。

① 再生のみ表示モード　：再生モード時モニタに表示している全ての画面が再生映像になります。
② 再生・ライブ同時表示モード　：再生モード時モニタの左上１画面のみ再生映像、それ以外の画面はライブ画面となります。
※　単画面時は再生映像となります。

〔４分割時の例〕

再生のみ表示モード
（CH1, 2, 3, 4 再生映像）

再生・ライブ同時表示モード
（CH1 再生映像、CH2～4 はライブ画面）

● 再生表示モードの設定は、デジタルビデオレコーダにて設定してください。
● 再生・ライブ同時表示モード時の、再生チャンネルの切換は特別な操作方法となります。
（その他の画面切換操作方法は、再生モードやライブ画面時に関係なく操作方法は同じです）

再生・ライブ同時表示モード時の表示について

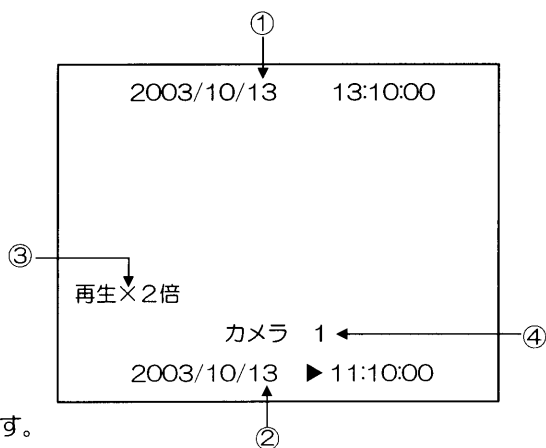
再生・ライブ同時表示モードで分割画面表示の場合、再生しているチャンネルの切換方法
① 「○ 再生選択（再生選択）」ボタンを３秒間長押しします。
② 表示したいチャンネルのボタンを押します。
③ 「○ 再生選択（再生選択）」ボタンを３秒間長押しして元の状態に戻ります。

再生時の表示について

① 現在時刻を表示します。
② 再生時刻を表示します。
③ 再生モードを表示します。

表示内容	動　作
再生	再生中です。
逆再生	逆再生中です。
再生×n倍	n倍で早送り中です。
逆再生×n倍	n倍で早戻し中です。
一時停止	一時停止しています。

④ カメラタイトル表示

※ 表示内容はデジタルビデオレコーダにて、設定できます。

再生開始のしかた

[検索画面からの再生の方法]

① 検索画面にて検索を行います。（検索のしかた２９～３０ページ参照）
② 「▶（再生）」ボタンを押します。
③ 検索をした位置から再生を開始します。

[検索画面からの逆再生の方法]

① 検索画面にて検索を行います。（検索のしかた２９～３０ページ参照）
② 「◀（逆再生）」ボタンを押します。
③ 検索をした位置から逆再生を開始します。

[最古データから再生する方法]

① 再生停止時に「▶（再生）」ボタンを押します。
② 最古データ位置から再生します。

[最新データから逆再生する方法]

① 再生停止時に「◀（逆再生）」ボタンを押します。
② 最新データ位置から逆再生します。

再生中の操作のしかた

[早送りの方法]

① 再生中に「▶▶（早送り）」ボタンを押します。
② 早送り中に「▶▶（早送り）」スィチを押すと倍速速度が変化します。
（→約2倍→約4倍→約6倍→約8倍→約 10 倍→約 12 倍→約 20 倍→約 24 倍→約 0.5 倍）

[早戻しの方法]

① 逆再生中に「◀◀（早戻し）」ボタンを押します。
② 早戻し中に「◀◀（早戻し）」スィチを押すと倍速速度が変化します。
（→約2倍→約4倍→約6倍→約8倍→約 10 倍→約 12 倍→約 20 倍→約 24 倍→約 0.5 倍）

[一時停止の方法]

① 再生、早送り、逆再生、早戻し中に「■（一時停止）」ボタンを押します。
＊一時停止中に「■一時停止」ボタン、「▶（再生）」ボタン、「◀（逆再生）」ボタンのどれかを押すと一時停止を解除します。

[コマ送りの方法]

① 一時停止中に「▶▶（早送り）」ボタンを押すとコマ送りとなります。

[コマ戻しの方法]

① 一時停止中に「◀◀（早戻し）」ボタンを押すとコマ戻しとなります。

ご注意

● 検索画面、コンビネーションカメラ操作時、ズーム時は操作できません。

■コンビネーションカメラ操作について

●コンビネーションカメラを操作することができます。

ご注意
●デジタルレコーダの操作により、セレクタ側のコンビネーションカメラ操作を強制停止することができます。その場合、操作が停止されます。
●プリセット操作はカメラに関係なく、最大6ヶ所になります。

[コンビネーションカメラ操作]

① ライブ画面にて操作したいコンビネーションカメラを単画面表示します。
② 「○カメラ（カメラ）」ボタンを押しします。
③ 操作できるボタンが点灯し、モニタに"カメラ操作中"と表示されます。
各ボタンを押してカメラを操作してください。

[ボタンと動作説明]

ボタン名称	動作説明
「^」	上
「v」	下
「>」	左
「<」	右
「+」	望遠
「−」	広角
「○」	絞り開
「・」	絞り閉
「自動絞り」	絞り自動
「1」～「6」	プリセット動作「1」～「6」

[プリセット登録方法]

① ライブ画面にてプリセット登録したいコンビネーションカメラを単画面表示します。
② 「○カメラ（カメラ）」ボタンを押しします。
③ カメラ位置をプリセット登録したい箇所に操作します。
④ 「□プリセット登録（プリセット登録）」ボタンを押した後に、プリセット登録番号（選択番号：1～6）のボタンを押しします。

[コンビネーションカメラ操作終了]

① 「○カメラ（カメラ）」ボタンを押しします。
② 単画面表示に戻ります。

ご注意
●コンビネーションカメラ操作を行う前に必ず、デジタルビデオレコーダの"コンビネーションカメラ設定"にてカメラにID番号を設定しておいてください。（設定はデジタルビデオレコーダの取扱説明書を参照してください。）

通信異常発生時について

● コンビネーションカメラまたは、赤外線リモコンユニット（TRS−R1640）にて通信ができなくなった場合に表示されます。

処置方法
デジタルビデオレコーダの取扱説明書を参照してください。

動　作	内　　容
モニタ上の表示	画面中央に表示
機器の表示	前面の異常LED点滅
警告音	連続ブザー音が鳴動 （異常／ブザー停止スイッチを押すとブザーが消音します。）

修理サービス

ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、 お買いあげの販売店またはお近くの東芝お客様ご相談センターにご相談ください。なお、ご相談されるときは形名(TRS-R1640)およびお買いあげ時期をお忘れなくお知らせください。

ご相談のまえに、つぎのことをお調べください

症　　状	調べるところ	処　　置
電源スイッチを「入」にしても起動しない	●電源コンセントが抜けていませんか？	電源コンセントを差し込んでください。（プラグのほこりは清掃してください。）
リモコンを押しても動作しない	●リモコンのボタンを押しても受信ランプが消灯したままですか？	リモコンの電池が切れていないか確認してください。
	●リモコンから受信ユニットまでの距離が2m以上離れていますか？	2m以内で操作してください。
異常ランプが点灯したまま消灯しない	●デジタルビデオレコーダと正しく接続されていますか？	接続を確認してください。
	●デジタルビデオレコーダの設定が正しいですか？	13 ページのプログラム設定を参照してください。

※　以上のことをお確かめのうえ、なお異常のある時は、本機の電源を入れなおしてください。

仕 様

■基本仕様

項目	内容
適合機種	TSAM-R940、TSAM-R1650
制御内容	モニタ制御 ① モニタの画面切換 単画面、4分割画面、6分割画面、8分割画面、9分割画面、10分割画面、16分割画面（16分割画面は本体がTSAM-R1650時のみ可能） ② 再生操作 ③ コンビネーションカメラ制御
使用周囲温度	0℃～40℃
使用周囲湿度	20%～85%
付属品	単4アルカリ乾電池（リモコン送信機動作確認用）…………………… 2 連結金具（LAD-1201）取付用ねじ（2台連結取付時使用）………… 2 ヒューズ（ミニチュアヒューズ Φ5.2×20mm 4A）…………… 1 取扱説明書 …………………………………………………… 1 操作ガイド …………………………………………………… 1

■送信機仕様［TRS-R1630(T)］

項目	内容
リモコン受信可能距離	約2m
適合電池	単4型アルカリ乾電池（LR03） 2本
電池持続時間	約1年（常温・常湿使用にて）
質量	約 100g（電池含む）
外観色	黒色
外形寸法	幅 60mm 奥行 175mm 高さ 23mm （突起物を除く）

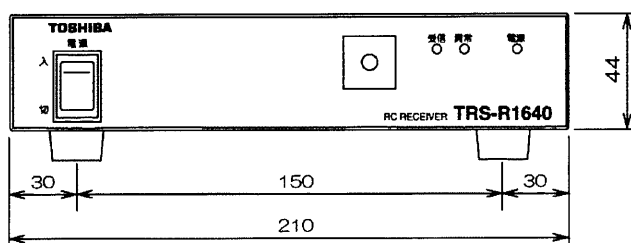
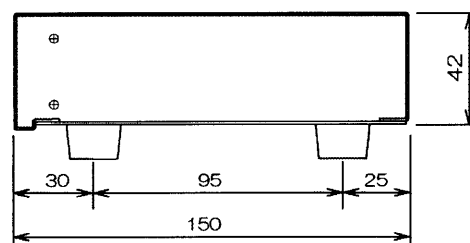
■受信機仕様［TRS-R1640(R)］

項目	内容
電源	AC100V 50Hz/60Hz
消費電力	約2W
通信制御入出力	RS-485 ：2入出力（同一ポート スクリューレス端子 6端子） 信号方式 ：シリアルデータ通信（RS-485） コマンド ：独自方式 配線距離 ：最大500m （2出力使用時、ポート1の終端からポート2の終端まで最大500m）
モニタ設定	3パターン（モニタ1、モニタ2、モニタ1とモニタ2）
ID設定時の制御可能台数	最大3台（モニタ設定がモニタ1とモニタ2の場合設定不可）
適合EIAラックマウント金具	単体取付：LAD-1101 2台連結取付：LAD-1201
質量	約 1.2Kg
外観色	黒（マンセルN1.0 近似色）
外形寸法	幅 210mm 奥行 150mm 高さ 44mm （突起物を除く）

ご注意

＊本機を使用中、万一なんらかの不具合により、使用や使用不能から生じたいかなる保障および付随的損害
（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、その他金銭上の損害など）に対して、当社は一切の責任をおいません。
＊本機を使用中、万一故障もしくは不具合により発生した付随的損害（録画・録音内容など）の保障については、ご容赦ください。
＊付属品の電池は最初の動作確認用のものです。使用期間は保障しておりません。
＊アルカリ乾電池の電池持続時間は約１年です。
＊使用環境、操作回数により電池持続時間が短くなる場合もあります。
＊長期間使用しない場合は、電池が液漏れ等する場合がありますので、電池を取り外して保管してください。
＊電池の劣化等がありますので、１年に１度交換することをお勧めします。
＊電池の容量が少なくなった場合受信可能範囲が短くなったり、受信しないことがあります。
その場合は電池を交換してください。
＊太陽光やインバータ蛍光灯の近くなど、周囲の状況により受信可能範囲が短くなったり、受信しないことがあります。その場合は受信機の設置場所を変更するか、太陽光を遮るなどの対処をしてください。

外形寸法図

〔正面図〕

〔側面図〕

保証とアフターサービスについて

保証について

保証の内容は、下記のとおりとさせていただきます。

保証期間	保証期間は、お買い上げの日から１年間です。
保証内容	取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理をさせていただきます。
保証の免責事項	保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。 (1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷 (2)お買上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷 (3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷 (4)車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷 (5)施工上の不備に起因する故障や不具合 (6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷 (7)日本国内以外での使用による故障及び損傷

補修用性能部品の保有期間について

（1）弊社は赤外線リモコンユニットの補修用性能部品を製造打ち切り後８年間保有しています。
（2）補修用性能部品とはその商品の機能を維持するために必要な部品です。
（3）修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
（4）修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は**お買い上げの販売店にご相談ください。**

ご転居あるいは贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合

『東芝家電修理ご相談センター』

フリーダイヤル 0120－1048－41

携帯電話・PHSからのご利用は、
東日本地区（北海道 東北 関東 甲信越 東海 沖縄県）044-543-0220
西日本地区（上記以外）06-6440-4411

電話で365日24時間お応えします

新製品などの商品選び、お取扱お手入れ方法などの方法

『東芝家電ご相談センター』

フリーダイヤル 0120－1048－86

携帯電話・PHSからのご利用は、
(03) 3426-1048
FAX (03) 3425-2101
(365日・8：00～20：00)

- 「東芝家電修理ご相談センター」「東芝家電ご相談センター」は東芝テクノネットワーク株式会社が運営しております。
- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

個人情報の取扱いについて

1. 修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および東芝の個人情報保護プログラムを遵守させますので、あらかじめご了承ください。
2. カメラシステムを使用して撮影する人物・その他の映像で、個人を特定できるものは個人情報となります。その映像の開示・公開、インターネットでの配信はあらかじめ承諾を得ることが必要になり、システムを運用する方の責務となりますので、ご注意ください。

東芝ライテック株式会社 電材照明社 〒140-8660 東京都品川区南品川2丁目2番13号（南品川JNビル）TEL (03) 5463-8779

お客様はお読みになったあとも必ず保存してください。

(56814)A

<生産完了 2010年03月01日>
TRS-R1640 (36 / 36)